

緑輝く大山 で時代行列

～御幸～

5月27日(日) 大山寺周辺で伝統行事の御幸があり、晴天に恵まれ、約3千人の観光客で賑わいました。僧兵、猿田彦(天狗)などを先頭に、みこし、稚児行列が続き、総勢90人が、緑まぶしい大山参道を練り歩きました。稚児行列には、大山保育所の年中、年長の男の子が参加。大山寺の階段を元氣よく駆け上がっていました。



わっしょい。わっしょい。かけ声に合わせて懸命に綱を引く大山中学校生徒

大山vs三徳山 綱引で決着

三朝中学校と大山中学校の2、3年生が5月27日(日)、大山博労座駐車場で綱引き対決をしました。今から約800年前、平安時代に三徳山の諸堂が大山寺の僧兵によって焼き払われ、その後僧兵同士の争いが続いたと伝えられています。昨年三朝町からその決着を綱引きでつけようと申し出があり、昨年8月、三徳山開山1300年祭の際に勝負をしましたが、結果は引き分け。そこで、今年大山で決着をつけようということに。綱引き対決は、御幸の前に行われ、保護者はもちろん観光客も足を止め声援を送り盛り上がりしました。結果は3勝1敗で三朝中が勝利。終了後、お互いの町を代表するダイセンキャラボクとシャクナゲの苗を交換し、仲直り。僧兵の争いは、中学生同士の新たな交流に変わったようです。



大山寺をめざし最後の石段を上ります

早乙女姿で茶摘み

大山新茶まつり



一面のお茶畑。新芽を丁寧に摘み取ります

暖かい日差しが注ぎ、夏の訪れを感じさせる5月27日(日)、陣構の茶畑で、大山新茶まつりが開かれました。

鮮やかな緑色が広がる茶畑では、お茶摘みが無料で体験できるとあって、町内外から多くの人が出で賑わいました。摘みたてのお茶の葉は、てんぷらにしてもおいしく、乾燥させて緑茶や紅茶としても楽しめます。

茶畑のすぐ横の特設ステ

暖かい日差しが注ぎ、夏の訪れを感じさせる5月27日(日)、陣構の茶畑で、大山新茶まつりが開かれました。

早乙女姿でお茶摘みや、抹茶をたてる手伝いをした町内の高校生は「初めて地域のイベントのお手伝いをしました。抹茶をたてるのも初めてでしたが、みなさんがおいしくと声をかけてくれてうれしかったです」と笑顔で話していました。